２　予算

（１）令和７年度当初予算指定箇所別事業概要

（令和７年４月１日現在）

事業大別 ＼ 年度対比		令和７年度		令和６年度	
		箇所数	予　算　額 （前年比）	箇所数	予　算　額
道路・街路関係	道路維持事業	107	千円 2,774,492 （92.9%）	90	千円 2,987,687
	交通安全施設等整備事業				
	道路新設改良事業				
	橋りょう維持事業				
	橋りょう新設改良事業				
	街路事業				
河川関係	河川維持事業	45	1,129,070 （103.3%）	49	1,093,430
	河川改修事業				
砂防関係	砂防維持事業	30	421,900 （160.4%）	22	263,100
	砂防施設等新設改良事業				
公園関係	公園整備費	4	214,500 （107.8%）	4	199,000
	公園緑地等維持管理費				
合　計		186	4,539,962 （99.9%）	165	4,543,217

※指定箇所は、「当初予算説明資料」の工事箇所に掲げられた工事箇所をいう。

（２）令和６年度予算執行状況

ア　収　入

（ア）　一般会計

科　　目	収入済額
(款) 分担金及び負担金	1,471,800　円
(項) 負担金	1,471,800
(目) 土木費負担金	1,471,800
(節) 道路橋りょう費負担金	1,471,800
(款) 使用料及び手数料	120,996,727
(項) 使用料	120,821,227
(目) 土木使用料	120,821,227
(節) 土木管理費使用料	2,301,518
(節) 道路橋りょう費使用料	80,597,063
(節) 河川海岸費使用料	29,008,466
(節) 砂防費使用料	274,766
(節) 都市計画費使用料	8,639,414
(項) 手数料	175,500
(目)土木手数料	175,500
(節) 砂防費手数料	52,000
(節) 都市行政費手数料	118,800
(節) 都市計画費手数料	4,700
(款) 財産収入	567,950
(項) 財産運用収入	567,950
(目) 財産貸付収入	567,950
(節) 土地建物等貸付収入	567,950
(款) 諸収入	7,388,204
(項) 受託事業収入	4,917,600
(目) 土木受託事業収入	4,917,600
(節) 道路橋りょう費受託事業収入	4,917,600
(項) 立替収入	2,384,951
(目) 土木立替収入	2,384,951
(節) 土木管理費立替収入	2,384,951
(項) 雑入	85,653
(目) 雑入	85,653
(節) 総務費雑入	40,367
(節) 土木費雑入	45,286
合　　計	130,424,681

イ　支　出

（ア）一般会計

款	項	目	支出額
総　務　費			39,390,735　円
	総務管理費		39,390,735
		一　般　管　理　費	35,976,335
		財　産　管　理　費	3,414,400
土　木　費			6,979,209,642
	土木管理費		37,326,105
		土　木　総　務　費	37,326,105
	道路橋りょう費		4,565,502,845
		道路橋りょう維持費	3,708,576,506
		道路橋りょう新設改良費	856,926,339
	河川海岸費		1,547,189,117
		河　川　維　持　費	632,971,251
		河　川　改　修　費	906,686,687
		水　防　費	7,531,179
	砂　防　費		405,061,284
		砂　防　維　持　費	25,753,678
		砂防施設等新設改良費	379,307,606
	都市行政費		2,074,698
		都　市　対　策　費	1,327,018
		建　築　指　導　費	747,680
	都市計画費		422,055,593
		都　市　計　画　総　務　費	105,960
		公　園　費	421,949,633
災害復旧費			40,928,000
	公共土木施設災害復旧費		40,928,000
		一般土木施設災害復旧事業費	40,928,000
合　計			7,059,528,377

（３）令和７年度主要事業

ア　道路橋りょう事業（補修系事業）

（ア）　国道 129 号を始めとする 19 路線、132.5㎞の管理道路の『安全・安心に配慮した快適な道路環境』を確保するため、路面補修や道路排水施設、街路樹等の適切な維持管理を実施する。

（イ）『災害に強いみちづくり』を目指し、計画的な維持管理による橋りょう等の長寿命化や、台風等の異常気象時における防災対策として道路法面の土砂崩落等を防止するための法面補強を実施する。

（ウ）　事故多発地点や、その周辺地域において、より良い交通環境を確保するため、交差点改良や歩道整備を実施するとともに、道路照明灯、防護柵、標識等の安全施設を設置して事故防止を図る。

（エ）　『歩道における安全かつ円滑な通行の確保』、『都市景観の向上』等の観点から、電線類の地中化を促進するとともに、バリアフリーの歩道整備を推進する。

イ　道路橋りょう事業（整備系事業）

（ア）　都市計画道路 座間荻野線（県道 42 号 藤沢座間厚木）は、県央地区における東西軸の道路網の強化及び交通の慢性的な渋滞を解消するため、平成４年度から厚木市関口～三田の 1.1㎞区間を第Ⅰ期事業として整備に取り組み、平成 25 年３月に４車線での供用開始を行った。

また、平成 22 年度から厚木市三田～下荻野の 1.2㎞の第Ⅱ期事業に着手しており、事業用地の取得と橋りょう上部工及び道路改良工事を進めている。

（イ）　県道 64 号（伊勢原津久井）は、伊勢原市西富岡から厚木市七沢、清川村・宮ケ瀬を経て津久井に至る主要幹線道路で、周辺には森の里や宮ケ瀬ダムがあり、今後とも交通量の増加が見込まれる状況にあるため、現道が狭い箇所の拡幅改良及びバイパス建設を進めている。

平成 17 年度から着手した古在家バイパスは、清川村煤ヶ谷の 0.8㎞区間を第Ⅰ期事業として整備に取り組み、令和５年３月に供用開始を行った。引続き第Ⅱ期区間の事業を令和６年度から進めている。

ウ　公園事業

（ア）　「七沢森林公園」は、昭和 55 年度に約 64ha を都市計画決定し、昭和 63 年４月に約 38ha を一部開園、平成２年４月に全面開園している。全面開園から 30 年以上が経過し、公園外周法面の風化や園路に影響する枯損木が見られるようになったため、令和３年度から法面工事などを行っている。令和７年度も引き続き、法面工事を実施するとともに園路整備工事を進めていく。

（イ）　「あいかわ公園」は、平成６年度に約 53.5ha を都市計画決定し、平成 14 年４月に約 13.4ha を一部開園、現在、開園面積は約 52ha となっている。開園から 20 年以上が経過し、冒険の森や子供広場の遊具が老朽化したため、令和４年度から遊具改修工事を行っている。令和７年度も引き続き、遊具改修工事を実施するとともに機械設備などの改修を進めていく。

エ　河川事業

（ア）　小鮎川、荻野川や玉川では、河川修繕事業等により、護岸の老朽化箇所の再整備や堆積土砂の撤去などを進める。

（イ）　相模川の河原口地区における河川改修事業は、昭和 47 年度から中小河川改修事業、河川改修事業により河川整備を進めている。令和７年度も引き続き、埋蔵文化財調査を進める。

オ　砂防、急傾斜地崩壊対策事業

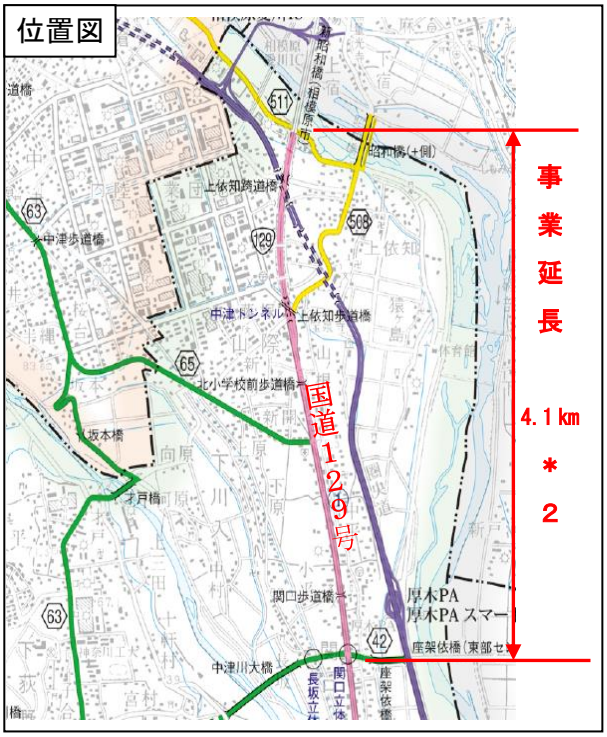
（ア）　砂防事業については、急峻な荒廃渓流流域から流出する土砂を貯め渓岸の侵食を防止するため、南沢のえん堤改築工事や滝ノ沢の渓流保全工事などを進める。

（イ）　急傾斜地崩壊対策事業については、崩壊危険区域の新規指定を進めるとともに、厚木市「関口」地区及び「下川入Ｂ」地区、愛川町「日向」地区において崩壊対策工事を進める。

（ウ）　愛川町「田代」地区の地すべり対策事業については、平成５年度から事業に着手し、平成 22 年度で予定の対策工事を完了したが、引き続き斜面の状況を監視していく。

事　業　名	道路補修事業
路　線　名	国道 129 号
事業箇所	厚木市関口～上依知
全体事業費	820 百万円
事業年度	平成 27 年度～令和 12 年度（予定）
工事内容	舗装工　L=8,200m（4,100m＊２）

位置図

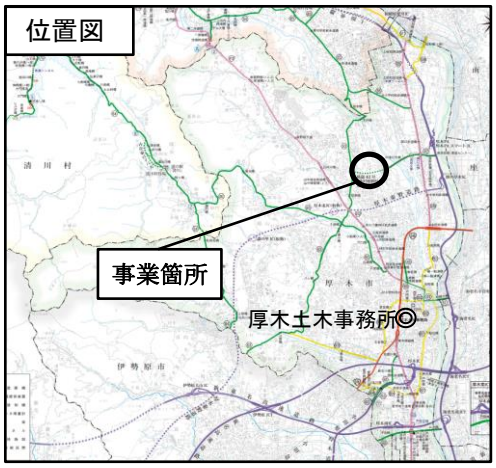


施工前

施工後

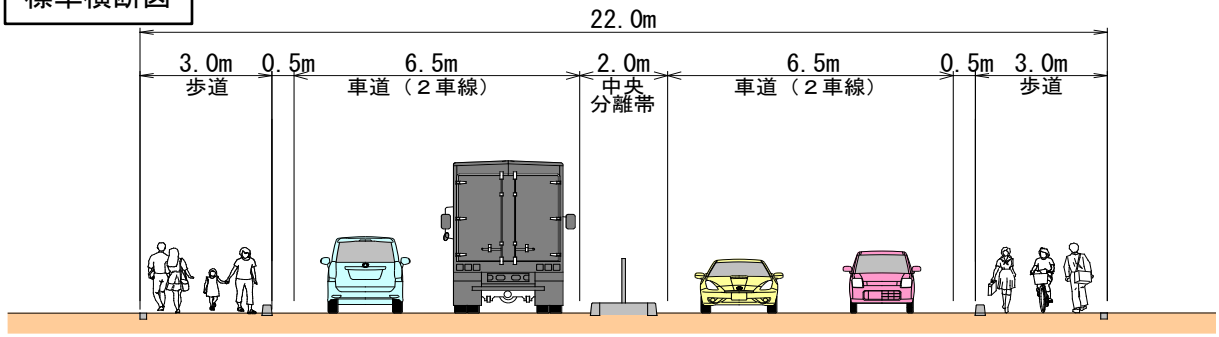
事　業　名	道路改良事業
路　線　名	県道42号（藤沢座間厚木）【第Ⅱ期区間】
事業箇所	厚木市三田～下荻野地内
全体事業費	約120億円
事業年度	平成22年度～令和８年度
工事内容	延長　L＝約1,170m 幅員　W＝22.0m

位置図



計画平面図

標準横断図



施工状況

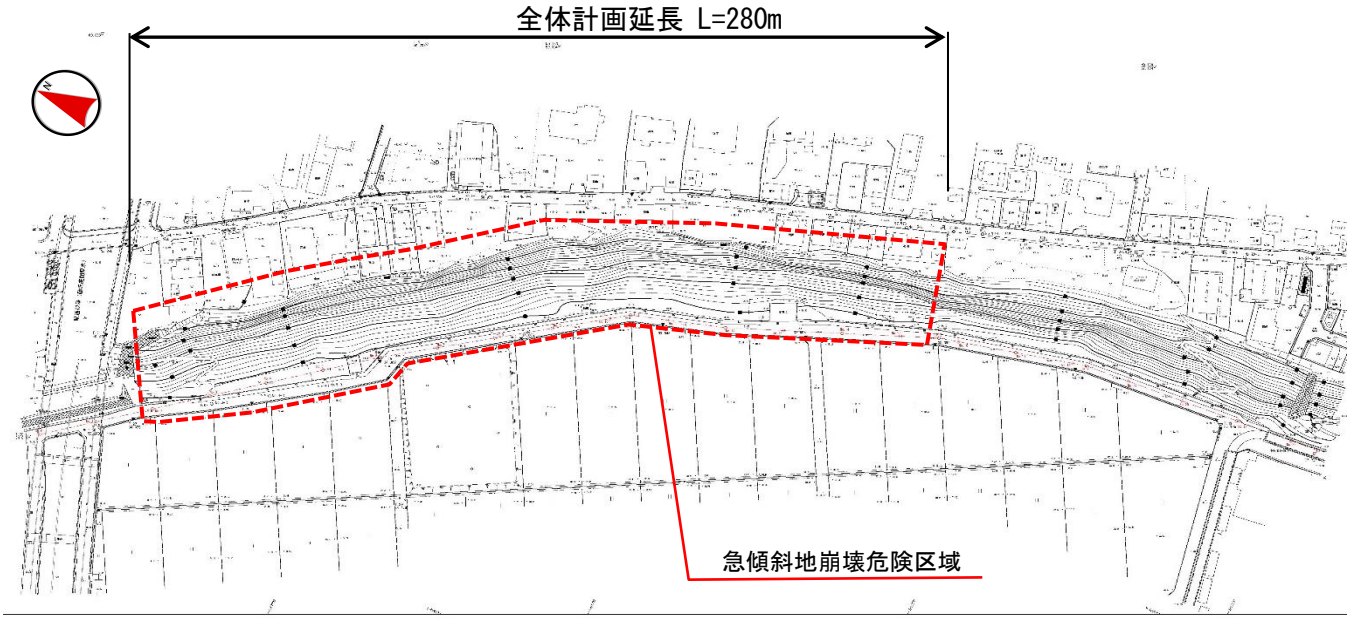
高架工区
（R6.3撮影）

平面工区
（R4.9撮影）

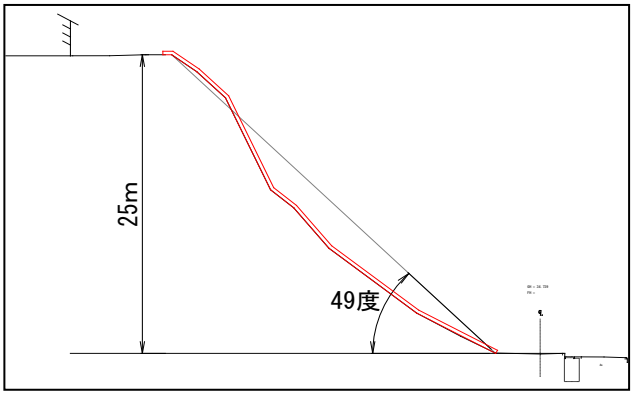
事業名	急傾斜地崩壊対策事業
区域名	関口
事業箇所	厚木市関口地内
全体事業費	約　5億円
事業年度	令和元年度～令和8年度
工事内容	吹付法枠工　A=9,200㎡

位置図

平面図

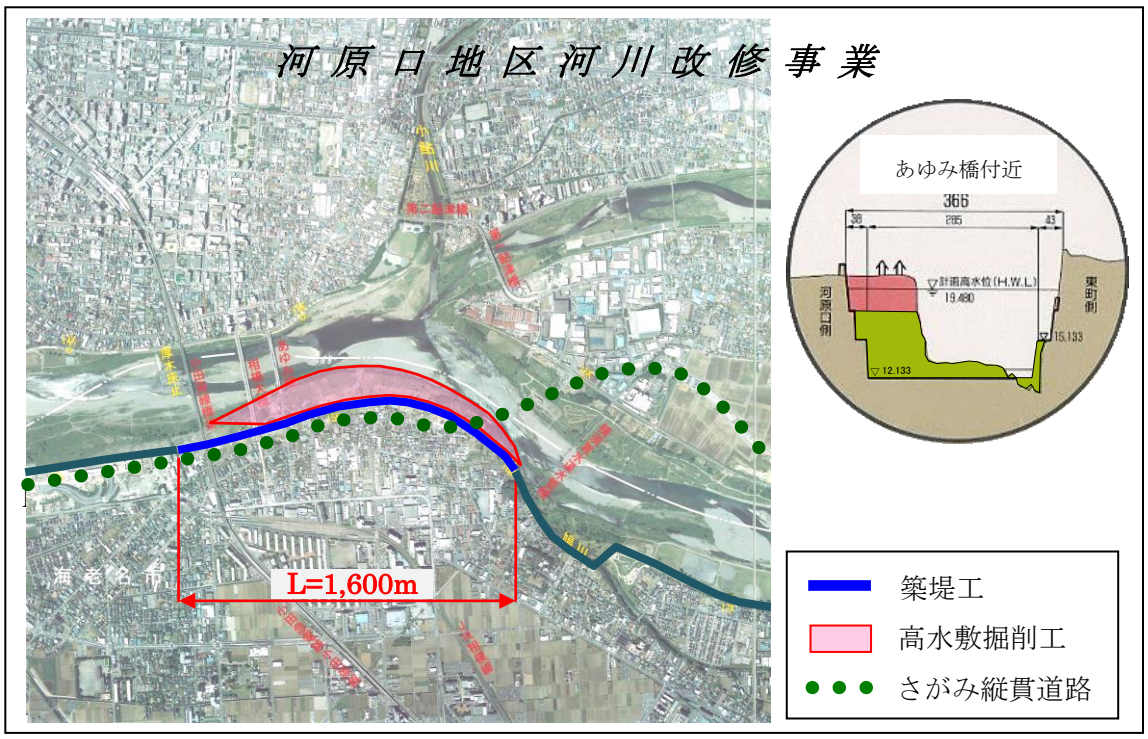


標準横断図



対象斜面

事業名	河川改修事業
河川名	一級河川　相模川
事業箇所	海老名市河原口
全体事業費	28,100 百万円
事業年度	昭和 47 年度～令和 15 年度
工事内容	事業区間　　L=1,600m
	築堤工　　L=1,600m
	高水敷掘削　V=約 30 万 m3



高水敷掘削工施工前

高水敷掘削工施工後